

# 国立西洋美術館を世界遺産に！！

## 「ル・コルビュジエの建築と都市計画」

### The Architectural and Urban Work of Le Corbusier

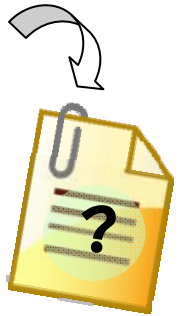


【発行】2010(平成22年)年12月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1111 <http://www.city.taito.lg.jp/sekaisan/>

## 世界遺産の中の「危機遺産」とは？

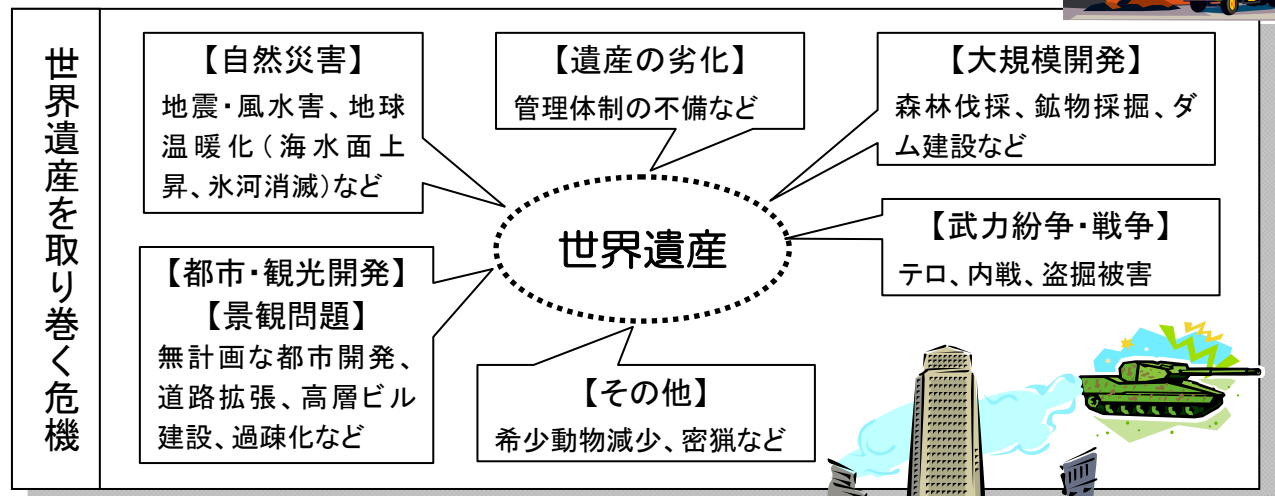
世界遺産リストには、登録された遺産が掲載されたリストの他に、もう一つの別のリストがあるのは、ご存知でしょうか？

世界遺産  
リスト



### 増加する世界遺産と保全・保護

1972(昭和47)年、ユネスコで「世界遺産条約」が採択されて以来、38年が経過し、世界遺産の数も年々増加し、現在、911件となっています。世界遺産リストに登録された遺産は、人類の宝物として未来へ引き継いでいかなければならぬため、適切に保全、保護していくことが求められています。しかし、世界遺産の中には、自然災害や人的要因などにより、世界遺産としての価値が損なわれるような重大な危機に直面している遺産もあります。



重大な危機を取り除くために「危機遺産リスト」を作成！

### ユネスコ世界遺産委員会

- ・ 毎年の世界遺産委員会で見直しを協議
- ・ 重大な危機にさらされている世界遺産を「危機遺産リスト」に登録し、危機的な状況を全世界へ知らせる。
- ・ 世界各国が協力して危機を取り除くため、財政支援、技術支援などを行う。

「危機遺産リスト」登録数：**34件**

(2010年8月現在)

危機的状況が回避された場合

「**危機遺産リスト**」から削除

危機的状況が改善されず、世界遺産としての価値を失う場合

「**世界遺産リスト**」から削除

(=登録が抹消される)

(抹消された遺産)

2007年アラビアオリックス保護区(オマーン)  
2009年ドレスデン・エルベ渓谷(ドイツ)

## 世界遺産に推薦しているル・コルビュジエ作品⑤

### ヴァイセンホフ・ジートルング (Maisons du Weissenhof-Siedlung)

ヴァイセンホフ・ジートルングは、「ヴァイセンホフという街の集合住宅」という意味です。1927年、ドイツ工作連盟はシュトゥットガルトにおいて「国際住宅博覧会」を開催しました。この博覧会を指揮したのは、ドイツ人建築家ミース・ファン・デル・ローエであり、彼は当時の有名な建築家に広く参加を呼びかけました。ヴァルター・グロピウス、ペーター・ペーレンス、ブルーノ・タウトなど、総計17人が参加し、設計の腕を競いました。

ル・コルビュジエも建築家の一人として参加しました。コルビュジエは、博覧会のテーマとなった「最小限住宅」を実現するため、鉄筋コンクリート造りによる一世帯型と二世帯型の住宅2棟を設計・建設しました。建物が空中に浮かんでいるように見えるピロティ、屋上のルーフガーデン、採光を意識した連続水平窓など、彼が提唱した「新しい建築のための5つの要点」の要素が随所に取り入れられています。また建物内部は、昼間は居間として、夜間は3分割して寝室とするなど、多様な生活スタイルに対応するための工夫が施されています。

博覧会に出品された建築作品の多くは、その後取り壊されましたが、コルビュジエの建物は、修復工事も行われ、今なお往時の姿を残し、大切に使われています。

## お知らせ

### ① 2月に「世界遺産区民講座」を開催します。

世界遺産の目的や仕組みをわかりやすく解説します。

日時: 2011(平成23)年2月5日(土) 13:00~15:00

場所: 上野区民館401集会室

定員: 80人(先着順)

講師: 菅野由仁子氏 (社)日本ユネスコ協会連盟

申込方法: 往復はがきに、①講座名、②住所、③電話番号、④受講希望者の氏名、年齢、

⑤同伴者の氏名・年齢を明記し、区担当までお申込みください。1枚のはがきで2名まで申込可  
申込み・問合せ: 〒110-8615 台東区世界遺産登録推進室「区民講座」担当 TEL5246-1082

※詳しくは、広報たいとう(12月5日号)、区公式ホームページ、世界遺産ホームページ等をご覧ください。

### ② 世界遺産WEBサイトのアドレス変更!

【新アドレス】

<http://www.city.taito.lg.jp/sekaiisan/>

世界遺産WEBサイトでは、世界遺産登録推進の状況や国立西洋美術館の建設経緯、建築家ル・コルビュジエのプロフィールなどの情報を発信しています。

## 紹介

### コルビュジエ作品、児童書にも登場!

福音館書店発行の月刊「たくさんのふしぎ」をご存知でしょうか?

11月号の『中にはいってみよう』(作者:葉山勉)では、おもしろい建築や空間が写真・文で紹介されています。その中で、ル・コルビュジエが設計したロンシャンの「ノートルダム・デュ・オー礼拝堂」とフェルミニの「サン・ピエール教会」が10頁にわたって取り上げられています。

その他にもフランク・ロイド・ライト設計の「グッゲンハイム美術館」など・・・、建物の魅力がいっぱいの本です。

